

令和3年度の自己評価結果公表シート

1 園の教育目標

- ①心身ともに健康でたくましい子ども
- ②全てのものを慈しみ思いやれる子ども
- ③自分の思いや感じたことを素直に表現できる子ども
- ④自分の考えたことを行動に移し最後までやり遂げる子ども
- ⑤人とのかかわりの楽しさがわかり大切にできる子ども

2 令和3年度の学校評価の目標や計画

- ① 家庭から離れることの子どもの不安をとりのぞき、少しずつ登園したいと思えるように保育の計画をたてる
- ② 集団であそぶことが楽しいと感じ、あそぶ中でいろいろなルールを知り守ってあそべるように指導する
- ③ 新型コロナウイルスへの対策をしながら生活する中で、友だちや先生とのかかわりから得ることのできる大切な経験をしていく
- ④ 一人ひとりの指導にあたり幼稚園教育要領の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を目標としてかかわり指導していく

3 評価項目の取り組み状況と達成度評価

206/272 人中(中間アンケート)

186/284 人中(年度末アンケート)

	評価項目	取り組み状況	保護者による達成度評価 (%)		教職員による達成度評価 (%)
			(中間)	(年度末)	(年度末)
保護者・教職員	園の教育目標の達成を確認しながら子どもたちの成長ぶりを評価した。	教育目標が達成するよう教育課程を基に保育を進め、子どもを一人ひとり見つけ関わっている。	99	98.7	92.6
	子ども一人ひとりに生活習慣が身につく、友だちとのよい関係が築けているか子ども一人ひとりが自分の力を十分発揮できているか。	生活習慣を身につけさせる 子どもの思いをじっくりと聞き、子ども同士のかかわりが十分持てるように配慮、援助している。いろいろなことを体験できるようにしている。	96.9	98.4	85.2
	健康についての配慮を色々しているが、健康管理に役立っているか。(おたより、けが、病気への対応、食育の指導など)	ほけんだよりでお知らせをしたり、健康管理について子どもたちの意識も高めている。またけがや急な体調不良の時保護者にしっかり状況を伝えるようにしている。 感染症の情報提供も行った。	97.8	96.6	97
	避難訓練や、防犯、交通安全教室などを行っているが、その取り組みの成果はどうか。危険な遊びをしていないか。	警察や消防署と連携して園内で指導をしていただく機会を作ったり、長期休暇前に子どもたちに交通ルールや防犯に関する話をしている。また外あそびや自由あそびには看護する教師がいるようにしている。	98	94.1	92.1
	いろいろな情報はお手紙で周知できるようにしているが分かりやすく伝わっているか。	お手紙は、保護者にわかりやすいよう詳しく記すようにしている。また急なお知らせはアプリを利用して迅速に知らせるようにしている。	97	97.4	97
	子育て支援、預かり保育は保護者の求めているものになっているか。	11時間開園における預かり保育をしている。またカウンセリングも、臨床心理士の先生に來園していただいている。(月2回) 未就園児への園庭開放を行っている(月1回) 未就園児の親のおしゃべり会を行っている。(週1回)	94.6	97	97
	施設整備の充実と維持管理をして子どもが楽しくすごせるように配慮できているか。	室内、室外ともに子どもたちが楽しくすごせるように遊具などを整備している。子どもたちにあそびが深まり広まるような声かけをしている。	96.1	97.3	83.3

※ (A) 100%~80% (B) 79%~60% (C) 59%以下 と評価する

4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
A	<p>令和3年度も感染症の対策は必要であったが行事や活動をするにあたって、参加人数を分散して行うことで多くのことができるようになった。大きな行事では計画をたてる際にご兄弟姉妹の方への配慮もして各ご家庭の負担ができるだけ少なくなるよう考えて行った。保護者のご理解、ご協力を得て、日程を変更したが計画通りにすすめることができ、子どもたちの経験も前年度よりは多くなった。コロナ禍の中での取り組みとして実行したが、不足と思われた点は人との関わりの幅が広げられなかったという点である。この点が教職員の達成度評価の低さになっていると思われる。異年齢児との関わりや多人数でのあそびがなかなかできなかったのも、さらに教職員で話し合い、活動の工夫が必要であると感じた。</p> <p>感染症の対策は次年度も続くようなので、今年度以上に教職員で話し合っ保育をすすめていきたい。また、未就園児への園庭開放等の子育て支援も工夫して行っていけるよう検討していきたい。</p>

5 今後取り組むべき課題

- ① 感染症対策をしての生活が長くなり、この園生活しか知らない子どもたちになっているので、保育計画において外あそびや友達ちと関わるあそびを多く取り入れていけるように工夫する
- ② 園生活をみんなでするにはルールがあることを知り、1人ひとりが守ろうとしてみんなで楽しくあそぶことが大切であることを知らせていく
- ③ 一人ひとりの成長をしっかりと観て、集団の中で育っていく姿を次の学年に引き継いでいけるよう指導していく

6 その他のご意見について

アンケートに書いていただいたご意見については教職員で確認し、今後の改善に役立てていけるようにする。教職員の反省や気づきになったり、はげみとなるご意見などもたくさんいただき、ありがたく思った。



コロナ予防の生活が常となっている中で、同世代の子どもたちと遊べる幼稚園が子どもたちにとって、とても大切な場であると見学に行った時に感じた。子どもたちが楽しく取り組める活動の工夫や環境構成を先生方が色々な角度から考えて計画されているように思った。こどもたちの楽しそうな笑顔が印象的だった。予防をしながらの保育はほんとうに大変だと思うが一人ひとりの思いによりそい成長につなげていくかかわりが持っていると感じた。子ども、先生、保護者がよい関係になっていることがこのアンケート結果から感じることができた。

これからもコロナの感染状況を見ながら子どもたちのために可能な限りいろいろな経験ができるように考えた保育がすすめられる園であってほしいと思う。